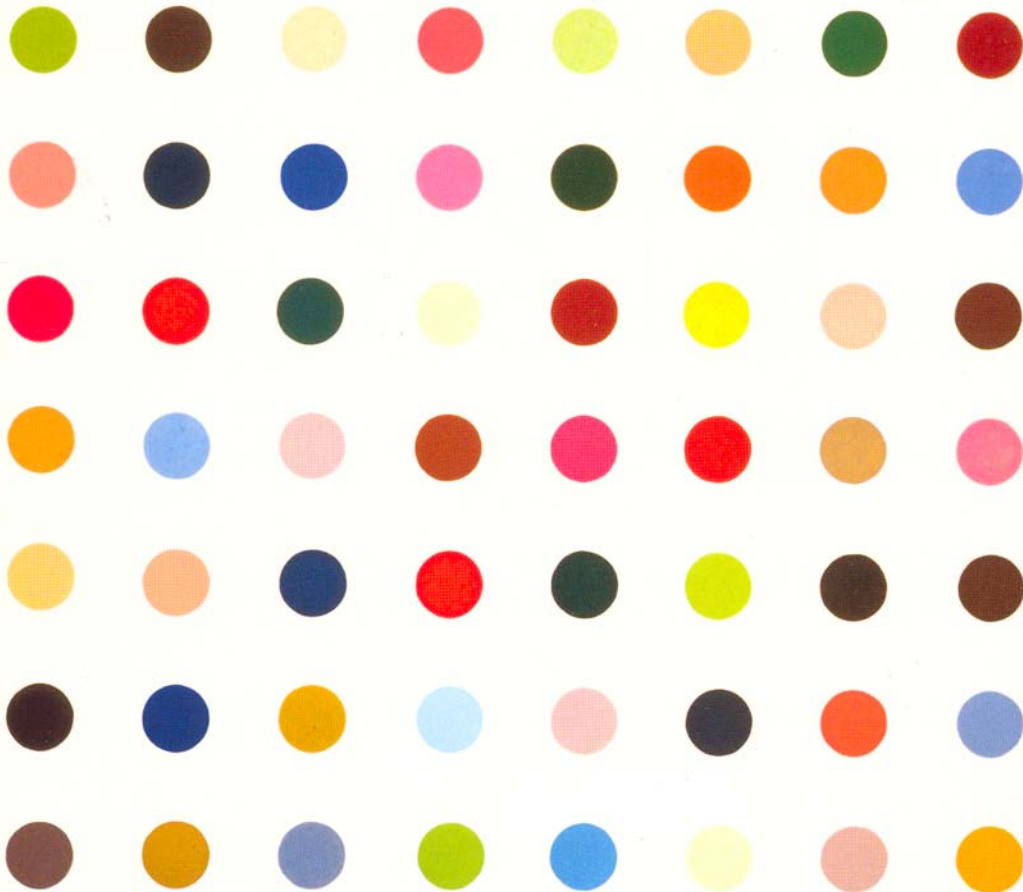


# 美術手帖

4  
2008  
Vol.60  
No.906  
BT



<http://book.bijutsu.co.jp/>

100%楽しむための キーワード超・整理

総力  
特集

# 現代アート事典

The Encyclopedia  
of Modern &  
Contemporary Art

アクション・ペインティング | 抽象表現主義 | 反芸術 | ポップ・アート | フルクサス | ミニマリズム | ランド・アート | コンセプチュアリズム |  
ボディ・アート | アール・ブリュット | フェミニズム | ポストモダン | グラフィティ・アート | ニュー・ペインティング | ビデオ・アート | ネオ・ポップ |  
シミュレーション | YBA | ネオ・コンセプチュアリズム | 多文化主義 | スーパーフラット | J回帰 | マイクロポップ.....etc

# ヴァシリス・ジディアナキス インタビュー

藤田千彩 文

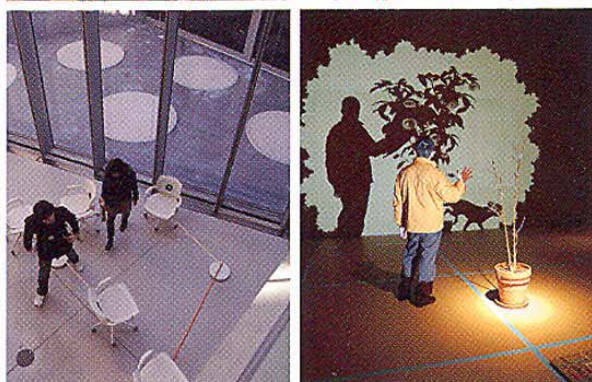
3月16日まで東京・六本木の「2121 DESIGN STUDIO」で行われていた「2008年目玉商品」展。目、見る、すぐれた視力などをテーマに、企業とクリエイターのコラボレーションを軸に、新しい作品やこれからの「目玉商品」を生み出していく展覧会だ。

この展覧会に出品したアーティスト、ヴァシリス・ジディアナキスは、繊維製品の企画・製造の販売会社であるセーレン株式会社と手を組んだ。壁には、セーレンの印刷技術「ビスコテックス」を使って、「オップ・ザ・シクロプス（以下オップ）」が大きく出力されている布が掛けられている。床に置かれた、ダンボール製のキャプションには、「名前：オップ 種別：シクロプス 性別：紳士……」とキャラクターの紹介がなされている。オップはジディアナキスが生み出した、青い一つ目小僧だ。そし

てオップの周囲には、地中海の至るところで発見される「ブルー・アイ」と呼ばれるビーズがインスタレーションされている。

展覧会会期中には子ども向けに、展示されている「オップ」をモチーフにした、布製の人形にぬり絵を施すワークショップが開かれた。「子どもと遊ぶとき、お互いの顔をくっつけていくと、目が一つになっていくでしょ？ オップはそれをイメージしたんだよ」とジディアナキスの顔がほころぶ。

人懐っこいジディアナキスは、ギリシヤのクレタ島生まれ。18歳まで過ごしている日書店で三宅一生の本に出会う。「こういう服の見せ方、考え方があったんだな、と知ったんです。三宅さんの作品は、彫刻、アート、衣服、どの言葉でもあてはまる表現形態でした。私は涙が出そうなくらい、自分に何が起きて



上2点——1月27日に行われたヴァシリス・ジディアナキスの子ども向けのワークショップの様子。子どもたちが作品をモチーフとしたぬいぐるみに色をつけていく  
下右——ブラブラックス（メグスリノキ〜The Second Sight Tree）。壁にたくさんの目がついた木が投影され、観客が手をかざすと、目が鳥や馬などの動物に変化して暗闇の世界から飛び出してくる  
下左——日比野克彦の作品より。手前：《見つめ合うイス》（コクヨオフィスシステムとの協同作品）、奥：《玉一杯》（日本精工株式会社との協同作品）

いるかわからないくらい、すごく感動しました。

ジディアナキスは、パリにある社会科学高等研究院（EHESS）へ進んだ。「個人的に現代アートで一番面白いのはファッションデザイナーだと思っています。衣服デザイナーのイオアナ・パバントニウからは、昔のギリシヤのファッションやその歴史を教わりました。同時に日本の三宅さん、川久保玲さんの仕事に関心を抱いていました。舞台芸術家のロバート・ウィルソンのも

とで3か月間働いたこともある。「プレゼンテーション、料理、テーブルのセティング、庭いじり、すべてなんでもアートのなるということを学びました。同時に、あらゆるデザインも知ることができたんです」。

そしてギリシヤへ帰国し、ジディアナキスは仲間3人と「ATOPOS」というカルチャー・オーガニゼーションの運営を始めた。「ATOPOS」とは、プラトンやソクラテスが用いた哲学用語で、「普通で

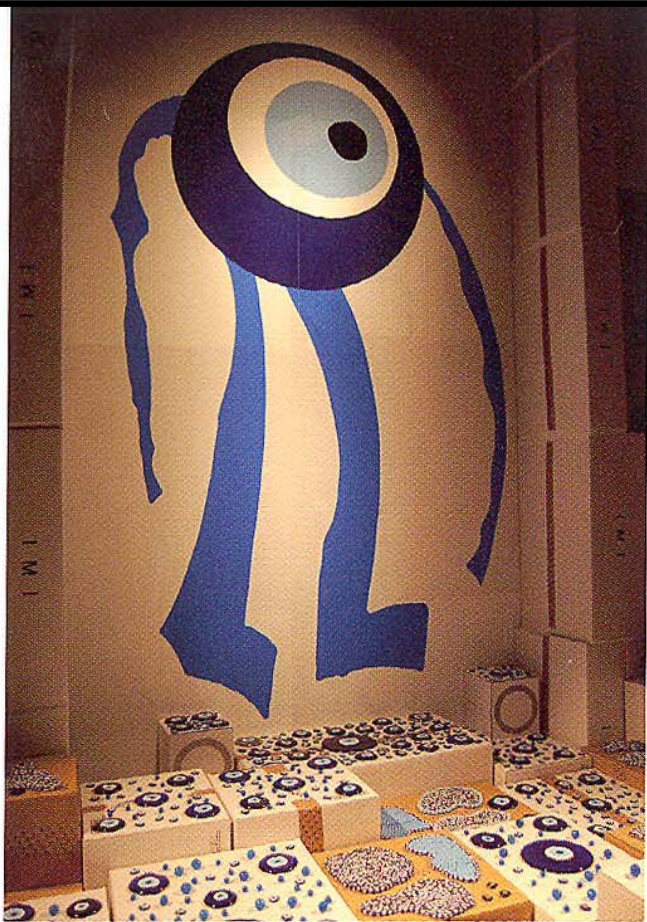
はない、どうしたらいいかわからないとき」を意味します。その状況をつかんで、いかに社会をよくしていくか。我々はアートという手段を使い、アーティストとして、あるいはキュレーターとしても活動しながら「ATOPOS」に立ち向かっていきたいと思っています」。2007年に開催された「RRRIPPII Paper Fashion」展は、ジディアナキスがディレクターという立場で参加した展覧会だ。

「この展覧会では古今東西、紙でつくられた服を集めました。服飾の歴史を振り返ると、必ずどの国でも紙で洋服をつくっている時代があります。普通に服を着ていると、体の動きによってできる「折れ」。それが大昔のギリシヤ人が持っていた服の美感覚でもあり、私のあこがれでもある三宅一生の「PLEATS PLEASE」のスタイルにもつながっているんだよ」。

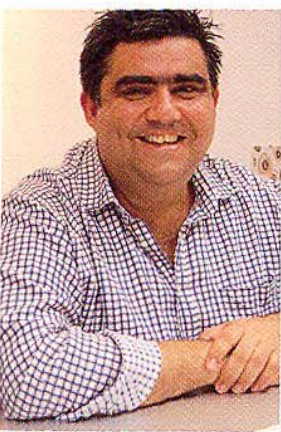
「RRRIPPII Paper Fashion」展はジディアナキスの地元・ギリシヤで大成功を収めた。今年10月にはルクセンブルグで、そのあとロンドンや日本など世界で巡回展を行う予定だ。

「どんなにインターネットが発達しても、私の拠点はギリシヤ。ギリシヤで成功したら海外に展開していく。そんな国際レベルの展覧会やプロジェクトを動かして行きたい」という、ジディアナキスの夢は大きくふくらんでいる。

◎ふじたちさい「美術ライター」



「2008年 目玉商品」展に展示された、ヴァシリス・ジディアナキスの「オップ・ザ・シクロプス」（セーレン株式会社との協同作品）



Vassilis Zidianakis アーティスト、キュレーター。1966年ギリシヤ生まれ。パリのEHESSで学んだのち、衣服デザイナーのイオアナ・パバントニウや舞台芸術家のロバート・ウィルソンのもとで学ぶ。スタモス・J・ファファリオスとともに現代美術、ファッション、デザインを融合したプロジェクト「ATOPOS」を立ち上げる。アテネ・オリンピックの関連企画としてベナキ美術館で開催された展覧会にはアーティストック・ディレクター、および共同キュレーターとして参加している。

早見 HAYAMI INSTITUTE OF ARTS & DESIGN LABORATORY

学校法人早見芸術学園  
**早見芸術学園 造形研究所**

湘南/鎌倉 JR鎌倉駅前  
**0467-22-3340**  
http://www.hayami.ac.jp  
mail info@hayami.ac.jp

2008年度生募集 **日本画塾**

全日1年制・4月入学(特待制度有)  
初心者～美大卒・一般を対象。湘南/鎌倉の豊かな自然の中、作家達が触発し出会う場。充分な思索と制作の時間、対談形式の講評会、作家手法論他。

随時受付 **テンペラ・油彩工房**

夜間2年制・入学随時  
経験・経歴不問。より真摯な表現を目指す方対象。古典絵画技法『混合技法』を基礎から識ると共に、個人の表現を考える場。